

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 公栄設備工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数

7

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		「建築設備工事と土木工事の技術を複合的に活かして、大切なステークホルダーのために貢献し、熊本に確固たる存在価値を築いて永続的に生き続ける企業となること」を経営ビジョンとして社内で共有し、年度ごとに事業計画を策定して実践している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		就業規則等の中にコンプライアンス規定を定め、これに沿った行動を行う仕組みを構築するとともに、コンプライアンス標語の唱和を始め、日常的な取組みを実践して社内への浸透を図っている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		コンプライアンス規定の中に従業員等の義務及び禁止事項として公正な業務を遂行することを定めるとともに、定期的並びに随時周知を図っている。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		コンプライアンス規定中にコンプライアンス推進体制を定め、コンプライアンス統括責任者、コンプライアンス推進責任者、コンプライアンス推進員を配置している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		就業規則等の中にリスク管理規定を定め、知的財産を含む情報の外部流出・漏洩がないよう取組んでいる。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報管理規定・特定個人情報取扱規定を定め、具体的な対策等を策定して情報保護管理を行っている。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		株主総会、取引先との打合せ、顧客からのクレーム対応等を具体的な機会としてステークホルダーとの意見交換を真摯に行い、株主満足度、顧客満足度、社員満足度の向上に取り組んでいる。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー・事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について協議を共有し、共に取り組んでいる。	●		コンプライアンス規定の中に公正な業務の推進について明文化しており、事業パートナー等と適宜意見交換会を実施し、管理の形骸化を防ぎ適正な対応を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●										8	9							17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2				5				8				12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則等の中にコンプライアンス規定、セクシュアルハラスメント防止規定等を定め、各種ハラスメントを防止する体制を構築するとともに、内部通報規定も制定して社内で差別や人権侵害がないことを確認している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		業務中の事故等を未然に防ぐため、安全意識の向上に向けてミーティング等で注意喚起し、社外安全コンサルタントによる安全パトロールを実施している。また各種安全機材等の導入・更改も積極的に実施している。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		再雇用者、臨時雇用者についても就業規則を定め、同一労働同一賃金の考え方に基づいて対応するとともに、各種休暇等についても社員就業規則に準じて対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		完全週休二日制は導入済みであるが、さらに年次有給休暇の取得推進や時間外労働の削減に努めるなど、ワークライフバランスの推進を図っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		社員各自の状況に応じたスキルアップと各種国家資格の取得計画をたて、研修及び受験の機会を会社として公式に提供している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		社員全員に対する定期健康診断に加え、40歳以上の社員については人間ドック受診の費用補助を行い、社員の健康維持に努めている。また、新型コロナウイルスをはじめとする各種感染防止策として、予防接種の実施など各種対策も会社施策として取り組んでいる。			3					8								17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		定年退職者の再雇用に加え再雇用期間終了後も引き続き雇用できる仕組みを導入済みであり、年齢制限のない雇用形態に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等を導入している。		●				3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	社員全員に専用PCを配布しており、経理・給与・労務管理等の共通業務はシステム化済みである。第2段階として建設作業に関する業務のDX化を推進するため測量・設計・積算・施工管理・完成処理等の業務に関するアプリケーションソフトを導入。更に、グループウェアを導入し、また、社内設備管理をオンライン化することで、リアルタイムでの会議室、車両の可視化が可能になり、設備利用の効率化に取り組めました。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12						

